

宇部市立藤山小学校 令和7年11月21日

藤山小ホームページ-



拡大学校運営協議会 ~思いを語り合おう~

11月4日(火)、本校体育館にて藤山中学校区拡大学校運営協議会を開催しました。「宇部市をもっと住みやすいまちにするには?~大人になっても宇部市に住み続けますか?」というテーマで本校6年生と藤山中学校区学校運営協議会の皆様と熟議をしました。

6年生一人ひとりがテーマに基づく宇部市への提案を話した後、地域の方が宇部市に対する思いや願いを語ってくださいました。初めは緊張していた子どもたちですが、自分たちの声をうなずきながらしっかりと聴いてくださる地域の方の温かさに触れ、表情も柔らかくなり、その場で感じたことを自分の言葉での返す場面が見られました。

「地域の方が、自分の思ったことを**ちゃんと聞いてくれて**、<u>話していて楽しか</u>った。」

「地域の方が、自分の意見を受け入れてくれて、アドバイスや自分の意見への 質問もしてくれたから、詳しく言えた気がする。<u>発表が苦手な自分も言えるんだ</u> なぁと思った。」

こうして地域の皆さんと<u>顔を合わせてお話をすること</u>で、**地域の方の思いや願いに直接触れることができた**ことは、6年生の子どもたちにとってもとても有意義な時間となりました。







走るっちょタイム~持久走大会に向けて~



11月26日(水)【雨天順延:12月4日(木)】に開催される持久走大会に向けて、子どもたちは今、がんばっています。体育の時間だけでなく、中間休みの走るっちょタイムでも"10分間の中で何周走ることができるか"に挑戦しています。自分との勝負!挑戦!この持久走大会を通して、"やり抜く楽しさ"そして、"がんばれる自分"に気付いてほしいと思います。きっとそこには、本当の「楽しさ」があるはずです。

"「楽しさ」あふれる藤山小学校"子どもたちの"がんばる姿"に温かいエールをお願いします。



12月衍事予定 ٧٨٧٨٧٨٧٨٧٨٧٨٧٨

			W	
日	曜	学校行事	給食	
1	月	代表委員会	0	
2	火		0	
3	水		0	
4	木	持久走大会(予備日)	0	
5	金		0	
6	土			
7	日			
8	月	クラブ		
9	火		0	
10	水	校則の見直し(参加6年15:05下校)	0	
11	木	3 校合同学校保健委員会 (鵜ノ島小)	0	
12	金		0	
13	土			
14	日			
15	月			
16	火	スタンプラリー集会 2.3 校時		
17	水	委員会活動	0	
18	木	SC 来校		
19	金	セレクト給食		
20	土			
21	日			
22	月			
23	火	給食終了	0	
24	水	終業式		
25	木	冬季休業		
26	金	学校閉庁日(~1/5)		
27	土			
28	日	閉庁期間中は、緊急の用件については宇部市教育	育	
29	月	■ 委員会学校教育課にご連絡いただきますよう ■ お願いします。 34-8611		
30	火	Ja OUII		
31	水			

※下校時刻については藤山小学校ホームページをご覧ください。
https://www.ube-ygc.ed.jp/fye/about/schedule/



12月の主な行事					
~ 5 日	(月)	学校閉庁日			
8 日	(木)	始業式			
		給食開始			
9 日	(金)	成長測定(1・2年)			
		特別時程 4 校時			
12日	(月)	成人の日			
13日	(Jk)	成長測定 (3・4年)			
1 3 1		特別時程4校時			
1 1 🗆	(水)	成長測定(5・6年)			
141		特別時程 4 校時			
15日	(木)	SC 来校			
19日	(月)	クラブ活動			
2 1 日	(水)	小中一貫教育協議会			
22日	(木)	SC 来校			
2 3 日	(金)	藤山中学校入学説明会			
27日	(火)	伝統文化推進事業			
28日	(水)	委員会活動			
29日	(木)	SC 来校			

「自己決定」を促す



先日、教頭研修会にて、工藤勇一氏の講演を聞く機会がありました。

工藤氏は、東京都立麹町中学校や横浜 創英中学・高等学校の校長として、宿題の 廃止、定期テストの見直し、固定担任制の 廃止、校則の再検討など、数々の教育改革 を実践された方です。

講演では、これからの時代を生きる子どもたちにとって重要なのは、「自己決定力」を育むことであると、熱く語られていました。

「○○しなさい」「○○した方がいい」と大人が方向を示すのは容易ですが、あえて「どうしたい?」「どうすればよいと思う?」と問いかけ、子ども自身が考え、判断し、決めることを促す姿勢が大切だと強調されていました。

子どもたちはこれからの人生で、数多くの選択や決断を迫られる場面に直面します。その時、自ら選び、選んだことに責任を持てるよう、学校と家庭が連携して育んでいく必要性を改めて感じました。